

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年10月4日(火) 11:00～11:45

場 所：法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

発表事項

1. 山形大学の研究紹介 — 都市のイメージと地域文化 —
2. シンポジウム「近代都市の相貌—明治山形の写真・絵画・建築」の開催
3. 山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクト・始動
4. 学生企画展「It's an Element World!!」を開催します
5. 蘇武絢子さん(地域教育文化学部3年)声楽コンクールで全国3位

お知らせ

1. 国際宇宙ステーションを利用した共同研究の成果について
2. 大学祭のご案内
3. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催
4. 「ポルティコの街ポローニャに学ぶ」2つのシンポジウムを開催

(参 考)

- 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時:平成28年10月18日(火)11:00～11:45

場 所:法人本部第二会議室(小白川キャンパス法人本部棟4階)

学長定例記者会見(10月4日)発表者

1. 山形大学の研究紹介 — 都市のイメージと地域文化 —

学術研究院 教授(芸術文化論・表象文化論) いしざわ やすのり
石澤 靖典

2. シンポジウム「近代都市の相貌—明治山形の写真・絵画・建築」の開催

人文学部附属映像文化研究所所長 にしがみ まさる
西上 勝
学術研究院 教授(芸術文化論・表象文化論) いしざわ やすのり
石澤 靖典

3. 山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクト・始動

附属博物館学芸研究員/学術研究院講師 さとう こと
佐藤 琴

4. 学生企画展「It's an Element World!!」を開催します

工学部 物質化学工学科1年 はんだ かずき
半田 和樹
理学部 物質生命化学科1年 やまぐち めい
山口 芽衣

5. 蘇武絢子さん(地域教育文化学部3年)声楽コンクールで全国3位

学術研究院 教授(地域教育文化学部担当) ふじの ゆういち
藤野 祐一
地域教育文化学部 音楽芸術コース3年 そぶ あやこ
蘇武 絢子

平成 28 年 10 月 4 日

山 形 大 学

山形大学の研究紹介 — 都市のイメージと地域文化 —

「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を使命とする山形大学の“旬な研究”を紹介いたします。今回は学術研究院の石澤靖典教授（いしざわやすのり芸術文化論・表象文化論）の「都市のイメージと地域文化」です。

1 研究課題 — 芸術家と社会が作り出す都市のイメージ

西洋美術史研究の一環として、「都市のイメージ」の分析に取り組んできた。この言葉が指し示すのは、現実の都市の景観はもちろんであるが、絵画や写真によって記録された「イメージのなかの都市」、またさまざまな時代状況によって人々に共有される「観念上の都市」も含まれる。絵画や心の内面によって再現された都市は、同時代のさまざまな思想信条やイデオロギーの影響を受ける。都市のイメージを分析することにより、時代の通念や地域に対する人々の意識を抽出することが可能となる。

2 研究事例 — ルネサンス時代のヨーロッパ都市

ヨーロッパにおいて都市イメージが発展したのはルネサンス期である。この時代に街を一望のもとに収めた鳥瞰図が制作されるようになる。ルネサンスの中心都市フィレンツェを描いたフランチェスコ・ロッセッリの景観図を分析すると、一見、写実的なその描写にも、現実とは異なる、理想的な都市像の呈示といった要素のあることが指摘される。一方、そのフィレンツェで制作されたサンドロ・ボッティチェッリの祭壇画を分析したところ、画面内に挿入されたダンテ『神曲』の一節が、当時のフィレンツェ市民に共有されていた政治的思惑、すなわちダンテを「国民詩人」として称揚し、フィレンツェ文化の覇権をアピールしようとする意図と関連づけられることが明らかとなった。

3 近年の取り組み — 山形の都市イメージと地域文化再生に向けて

近年は、人文学部に附属映像文化研究所が発足したことが機縁となり、近代東北の写真文化から都市のイメージを再考する研究にも着手した。東北初の写真家である菊池新学や明治の古写真にあらためて着目し、忘れられていた地域文化を再評価することが目下の課題である。そのため、研究所を中心に地域の博物館や美術館、県内外の研究者とも連携し、文明開化以降の山形の都市イメージを検討するシンポジウムの開催や論集の発行に力を入れている。



フランチェスコ・ロッセッリ（原画）《鎖に囲まれたフィレンツェ図》、1470-90年頃、ベルリン美術館版画素描室



サンドロ・ボッティチェッリ
《サン・バルナバ祭壇画》、
1487年頃、フィレンツェ、
ウフィツィ美術館

（お問合せ先）

学術研究院

教授 石澤靖典（芸術文化論・表象文化論）

電話：023-628-4294

Mail： ishizys@human.kj.yamagata-u.ac.jp

平成 28 年 10 月 4 日
山 形 大 学

シンポジウム「近代都市の相貌 — 明治山形の写真・絵画・建築」の開催

明治9年（1876年）に3県が統合され、現在の山形県が誕生して今年で140年を迎えます。これを記念し、人文学部附属映像文化研究所では、明治期の山形を記録した写真と絵画、およびそこに映し出された都市景観を検証するシンポジウムを開催いたします。各分野の専門家4名を招き、近代建築と区画整備によって都市の相貌を一変させた山形と、写真や洋画といった当時の“ニュー・メディア”の関係をさまざまな視点から掘り起こします。一般の方々の来聴も歓迎いたしますので、奮ってご参加ください。

◆ シンポジウム概要

日時・場所：10月16日（日）13：00～17：00、人文学部103教室

主催：山形大学人文学部附属映像文化研究所

※ 事前申し込み不要、入場無料、一般来聴歓迎

◆ プログラム

【基調講演】

小林俊介（山形大学学術研究院教授（絵画・美術史））

「“可視化”された近代山形 — 高橋由一・源吉の絵画／菊池新学・清、照井正太郎の写真 —」

【パネル発表】

・岡塚章子（東京都江戸東京博物館学芸員）

「菊池新学の師 — 横山松三郎と清水東谷 —」

・松隈章（竹中工務店設計本部設計企画部）

「記録された近代・山形と都市を記憶する試み — 時空を繋ぐ —」

※ パネル発表に続き、作品調査報告（山形美術館学芸員 白幡菜穂子）およびディスカッションをおこないます。



菊池新学《明治14年撮影の山形市街》、山形大学附属博物館蔵



高橋由一《山形県庁の図》、「三島県令道路改修記念画帖」所収、山形大学附属博物館蔵

（お問合せ先）

担当：学術研究院 教授 石澤靖典（芸術文化論・表象文化論）

電話：023-628-4294



ⅡシンポジウムⅡ

近代都市の 相貌

明治山形の
写真・絵画・建築



(上) 菊池新学《明治14年撮影の山形市街》山形大学附属博物館蔵 (下) 高橋由一《山形県庁の図》(『三島県令道路改修記念画帖』所収) 山形大学附属博物館蔵

2016年

10/16 日 午後1時~5時

事前申込不要・参加無料

基調講演

小林 俊介 山形大学地域教育文化学部教授
“可視化”された近代山形
— 高橋由一・源吉の絵画 / 菊池新学・清、照井正太郎の写真 —

パネル発表

岡塚 章子 東京都江戸東京博物館学芸員
菊池新学の師 — 横山松三郎と清水東谷 —

松隈 章 竹中工務店設計本部設計企画部
記録された近代・山形と都市を記憶する試み — 時空を繋ぐ —

報告

白幡 菜穂子 山形美術館学芸員
研究ノート：
菊池新学撮影「県庁前通り」について

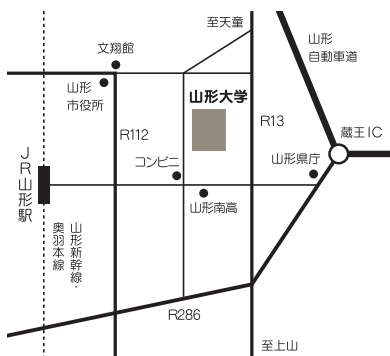
パネルディスカッション司会

森岡 卓司 山形大学人文学部准教授

山形大学小白川キャンパス
人文学部1号館103教室

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL 023-628-4203
E-mail jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

交通 JR山形駅前から「県庁行き」バス乗車、
案内「山形南高前」下車、徒歩5分



【主催】山形大学人文学部附属映像文化研究所

科学研究費学術研究助成基金助成金・基盤研究(B)「東北地方における写真文化の形成過程と視覚資料の調査研究」(研究代表者: 森岡卓司、課題番号: 16H0336402)

近代都市の相貌

明治山形の
写真・絵画・建築

基調講演

”可視化“された近代山形

— 高橋由一・源吉の絵画 / 菊池新学・清照井正太郎の写真 —

小林 俊介

筑波大学大学院博士課程芸術学研究科修了。博士(芸術学)。山形大学地域教育文化学部教授。専門は近代日本美術史および絵画実技。著書に『難波田龍起―「抽象」の生成―(美術出版社、一九九八年)、『昭和期美術展覧会の研究(共著、東京文化財研究所、二〇〇九年)、『帝展改組/新体制と美術(編著、ゆまに書房、二〇一二年)ほか。二〇一六年「高橋源吉研究」で第二三回鹿島美術財団賞を受賞。

岡塚 章子

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程修了。博士(芸術学)。東京都写真美術館、東京都庭園美術館を経て、現在、東京都江戸東京博物館学芸員。主要展覧会企画に「写された国宝展(二〇〇〇年)」、「庭園植物記展(二〇〇五年)」、「建築の記憶展(二〇〇八年)」、「二四〇年前の江戸城を撮った男 横山松三郎展(二〇一一年)」、「浮世絵から写真へ―視覚の文明開化―展(二〇一五年)など。横山松三郎展で二〇一二年日本写真協会賞学芸賞、「浮世絵から写真へ」展図録掲載論文で二〇一五年美連協カテゴリー論文賞優秀論文賞を受賞。

パネル発表

菊池新学の師

— 横山松三郎と清水東谷 —

パネル発表

記録された近代・山形と都市を記憶する試み

— 時空を繋ぐ —

松隈 章

北海道大学建築工学科卒業後竹中工務店入社。大阪本店設計部、本社・企画室、本社・地球環境室などを経て二〇一〇年より本社設計本部設計企画部副部長。設計業務の傍ら近代建築の保存活用や公益財団法人ギャラリーA4での「一四〇人の東京駅」などの企画展をはじめとする数多くの建築展に従事。主な著書に『聴竹居 藤井厚二の木造モダンイズム建築』(平凡社)、『コナフックス』(二〇一五年)、『一六人の建築家―竹中工務店設計部の源流』(共著、井上書院、二〇一〇年)など。保存・修復・再生に関わった「旧ジエームス邸」が建築学会作品選集とBELCA賞受賞。

白幡 菜穂子

東北大学文学研究科博士課程前期修了。山形大学附属博物館、山形県郷土館文翔館を経て、二〇一四年より山形美術館学芸員。主に企画した展覧会は「毒地社とその時代展」(二〇〇九年)、「高山辰雄と日本画五山展」(二〇一五年)など。

報告

研究ノート：菊池新学撮影

「県庁前通り」について

本年(二〇一六年)は、明治九年(一八七六年)に統一山形が誕生して一四〇年の記念の年にあたります。初代山形県令に就任した三島通庸は、県庁舎や病院、学校などの公共施設を建造するだけでなく、道路や橋梁などの交通網の整備を積極的に推し進めたことにより、山形の近代化に大きな貢献を果たしました。とりわけ、県庁を核とする山形市の中心地区は、数々の洋風建築が立ち並び、都市景観によって一新され、英国の旅行家イザベラ・バードをして「県庁、裁判所、そして進歩した付属学校をもつ師範学校、それから警察署はいずれもりっぱな道路と町の繁栄にふさわしく調和している」と言わしめるほどの近代的眺望を形づくるにいたりました。

このような山形の近代化は、同時に、写真や絵画などの新しい表現媒体を通して、広く内外に知られることとなります。明治初年に山形市に東北初の写真館を開設した菊池新学は、明治九年に県令三島通庸から「御用写真家」に指名され、県内に新造された建築物、橋梁、道路、トンネルなどを写真撮影しています。また画家の高橋由一は、当時導入されたばかりの西洋絵画を習得し、やはり三島の命により、石版画集『三県道路写生帖』を完成させました。「近代都市山形」のイメージが、西洋伝来の新たな技術により、清新な姿で記録されたのです。

山形大学人文学部附属映像文化研究所の主催により開催される本シンポジウムは、明治期山形の近代化を、写真や絵画、あるいはそこに記録された建築などを通じて検証する試みです。地方都市の相貌が形成される過程において、視覚文化が果たした重要な役割がそこから浮かび上がってくるのではないのでしょうか。

なお、本シンポジウムは、山形美術館が今秋に予定している展覧会「統一山形誕生一四〇年 絵画と写真にみる山形の近代」との連携企画です。

関連
開催

展覧会「統一山形誕生一四〇年 絵画と写真にみる山形の近代」

二〇一六年一〇月一四日(金)～三〇日(日)

【会場】山形美術館(山形市大手町一六三) 【主催】山形美術館、山形新聞、山形県
【問合せ】電話〇二三-一六二二-三〇九〇 / ファックス〇二三-一六二二-三三四五

【会場】山形大学小白川キャンパス人文学部1号館103教室 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12(JR山形駅前から「県庁行き」バス乗車、「山形南高前」下車、徒歩5分)

【お問合せ】TEL 023-628-4203 E-mail jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年10月4日
山形大学

山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクト・始動

「山形文化遺産スタンプラリー」と「山大教員とともに山形の自然と文化をめぐるツアー」を実施します

平成28年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業「山形の文化遺産を世界に発信するプロジェクト」（主催：山形文化遺産活用事業実行委員会[事務局：山形大学附属博物館]）の一環として下記の事業を実施します。

【山形文化遺産スタンプラリー】

山形市内の文化遺産と博物館をめぐるスタンプラリーです。スタンプを4種類集めると記念品（ミュージアムグッズとお楽しみ）を進呈します。

◆開催期間 平成28年10月1日（土）～11月27日（日）

◆スタンプ設置場所

山形県郷土館「文翔館」（旧県庁舎及び県会議事堂）、山形市郷土館（旧済生館本館）、山形県立博物館教育資料館（旧山形師範学校本館）、山形県立博物館、山形美術館、最上義光歴史館

【山大教員とともに山形の自然と文化をめぐるツアー】

山形市の地形と山形県誕生140年の歴史の痕跡を歩いてたどります。山大教員が見所を詳しく解説します。

Aコース 地形と重要文化財コース

日時 平成28年10月23日（日）午前10時30分～午後3時

見学先 山形県立博物館教育資料館

山形県郷土館「文翔館」、山形市郷土館など

Bコース 外国人向けコース

日時 平成28年10月30日（日）午前10時30分～午後3時

見学先 山形県郷土館「文翔館」、山形美術館など

※事前申込制、定員20名、外国人参加者可（通訳有）

（お問合せ先）

山形大学附属博物館

電話 023-628-4930

E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形美術館

有料



「統一山形誕生140年
絵画と写真にみる山形の近代」
「場所と記憶 永岡大輔×千葉菜穂子」
140年前の山形を菊地新学の写真と高橋由一の絵画でふりかえる。山形ゆかりの現代作家展も同時開催。
会期／2016年10月14日(金)～10月30日(日)

「服部コレクションセレクション」展
アイズピリやビュッフェなど20世紀フランス絵画を20点ほど展示。
会期／2016年10月14日(金)～10月23日(日)

山形県立博物館

有料(スタンプラリー参加者は入館特典あり)



プライム企画展
「よみがえる古の大寺院「寶幢寺」至宝展」
最上義光ゆかりの大寺院であった「寶幢寺」(現・山形市もみじ公園)の宝物を中心に、展示をとおして山形の精神文化に迫っていきます。
会期／2016年9月24日(土)～12月4日(日)

山形市郷土館(旧済生館本館)

無料



企画展「三層楼のあゆみと今 旧済生館本館
重要文化財指定50周年記念 絵画・写真展」
「旧済生館本館」重要文化財指定50周年を記念し、旧済生館本館のあゆみを写真で振り返るとともに、皆様からご応募いただいた絵画や写真を展示。
会期／2016年9月17(土)～11月23日(水・祝)

山形県郷土館「文翔館」

無料



創建百周年記念 文翔館復原の記録展
「石積と擬石と
一そして百年前の県庁舎ふたたび」
10年にわたった文翔館の復原の記録を外観に焦点をあてて紹介。「百年前の県庁舎」展の資料も展示。
会期／2016年10月7日(金)～11月5日(土)

最上義光歴史館

無料



企画展示「最上家とみやびの文化」
新たに山形市が購入した「三部抄」(最上家親、勝海舟ゆかりの和歌の指導書)と斯波兼頼の菩提寺・光明寺所蔵の「紹巴法眼自筆之発句」の初公開。収蔵資料から最上義光連歌と最上家ゆかりの連歌資料を展示。
会期／2016年9月14日(水)～2017年1月22日(日)

三部抄 最上義光歴史館所蔵

イベントカレンダー

山形県立博物館

10月 9日(日)	国宝縄文の女神 展示解説会(事前申込不要) 時間／13:30～13:45
10月15日(土)	プライム企画展「よみがえる古の大寺院「寶幢寺」至宝展」展示解説会(事前申込不要) 時間／13:30～14:00
11月19日(土)	プライム企画展「よみがえる古の大寺院「寶幢寺」至宝展」展示解説会(事前申込不要) 時間／12:50～13:20
11月27日(日)	館長・学芸員講座「地球史-先カンブリア時代-」 (聴講無料・事前申込不要) 時間／13:30～15:00

文翔館

10月 8日(土)	文翔館の日(詳細はホームページをご覧ください) http://www.gakushubunka.jp/bunsyokan/
-----------	--

山形大学

10月16日(日)	山形大学人文学部附属映像文化研究所 シンポジウム 「近代都市の相貌」(聴講無料・事前申込不要) 時間／13:00～17:00 会場／山形大学人文学部1号館103教室
10月23日(日) 10月30日(日)	山大教員とともに山形の自然と文化をめぐるツアー (要事前申込) 時間／10:30～15:00

山形美術館

10月16日(日)	「場所と記憶」展 アーティストトーク(事前申込不要・要入館料) 時間／13:30～
10月30日(日)	「統一山形誕生140年 絵画と写真にみる山形の近代」 ギャラリートーク(事前申込不要・要入館料) 時間／14:00～14:30

お問い合わせ 山形文化遺産活用事業実行委員会(事務局 山形大学附属博物館)
TEL.023-628-4930

文化庁 平成28年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

創建
100年



山形県郷土館「文翔館」
(旧県庁舎及び県会議事堂)

重要文化財指定
50周年



山形市郷土館(旧済生館本館)

山形を知る



山形文化遺産

スタンプラリー

創建
115年

山形県立博物館教育資料館
(旧山形師範学校本館)

主催／山形文化遺産活用事業実行委員会

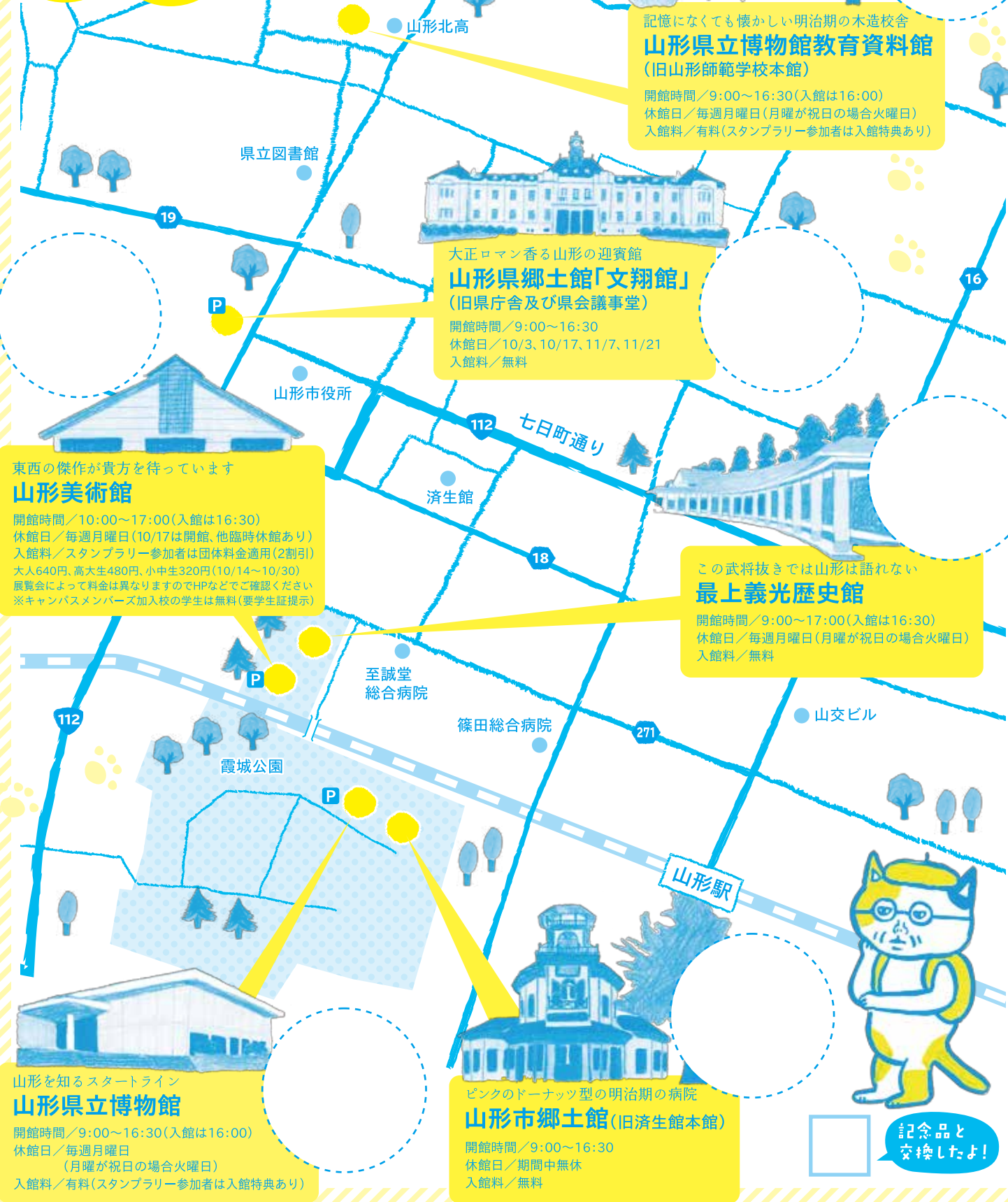
山形を知るMAP

秋は歴史と文化を感じるイベントがいっぱい
10月1日～11月27日の期間中に各施設の窓口で
スタンプを押してください。
スタンプを4種類集めた方に記念品をさしあげます

スタンプを集めよう!

4種類のスタンプを集めると
ミュージアムグッズ + お楽しみ と交換ができます。
詰め合わせ

問い合わせ先 / 山形文化遺産活用事業実行委員会(事務局 山形大学附属博物館)
TEL.023-628-4930



記憶になくとも懐かしい明治期の木造校舎
山形県立博物館教育資料館
(旧山形師範学校本館)
開館時間 / 9:00～16:30(入館は16:00)
休館日 / 毎週月曜日(月曜が祝日の場合火曜日)
入館料 / 有料(スタンプラリー参加者は入館特典あり)

大正ロマン香る山形の迎賓館
山形県郷土館「文翔館」
(旧県庁舎及び県会議事堂)
開館時間 / 9:00～16:30
休館日 / 10/3、10/17、11/7、11/21
入館料 / 無料

この武将抜きでは山形は語れない
最上義光歴史館
開館時間 / 9:00～17:00(入館は16:30)
休館日 / 毎週月曜日(月曜が祝日の場合火曜日)
入館料 / 無料

東西の傑作が貴方を待っています
山形美術館
開館時間 / 10:00～17:00(入館は16:30)
休館日 / 毎週月曜日(10/17は開館、他臨時休館あり)
入館料 / スタンプラリー参加者は団体料金適用(2割引)
大人640円、高大生480円、小中生320円(10/14～10/30)
展覧会によって料金は異なりますのでHPなどでご確認ください
※キャンパスメンバーズ加入校の学生は無料(要学生証提示)

山形を知るスタートライン
山形県立博物館
開館時間 / 9:00～16:30(入館は16:00)
休館日 / 毎週月曜日
(月曜が祝日の場合火曜日)
入館料 / 有料(スタンプラリー参加者は入館特典あり)

ピンクのドーナツ型の明治期の病院
山形市郷土館(旧済生館本館)
開館時間 / 9:00～16:30
休館日 / 期間中無休
入館料 / 無料



記念品と交換したよ!

Walking Tour of Yamagata

山大教員とともに山形の自然と文化をめぐるツアー

山形市の地形と山形県誕生 140 年の歴史の痕跡を歩いてたどります

A 地形と重要文化財コース

10月23日(日) 10:30~15:00

(途中、七日町近辺で約1時間の昼食休憩をとります
昼食はご自由におとりください)

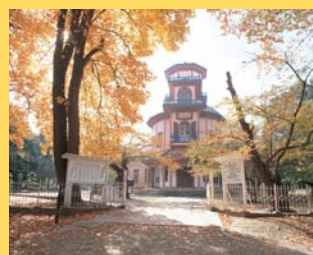
集合場所 山形県立博物館教育資料館 (旧山形師範学校本館)

山形県郷土館「文翔館」(旧県庁舎および県会議事堂)
山形市郷土館 (旧済生館本館) などを解説付きで見学

解散場所 霞城公園



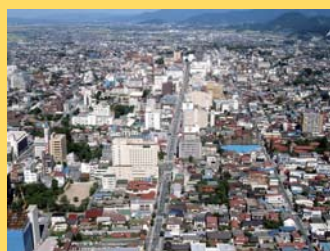
長谷川竹葉《山形県名所図会済生館》
山形大学附属博物館所蔵



山形市郷土館 (旧済生館本館)
(「やまがたの広報写真ライブラリー」より)



高橋由一《三島県令道路改修記念画帖》
山形大学附属博物館所蔵



山形市内
(「やまがたの広報写真ライブラリー」より)

B 外国人向けコース 日本の方も参加できます

10月30日(日) 10:30~15:00

(途中、山形美術館近辺で約1時間の昼食休憩をとります
持参した弁当を食べる場所を用意します)

集合場所 山形大学附属博物館

山形県郷土館「文翔館」(旧県庁舎および県会議事堂)
山形美術館などを解説付きで見学

解散場所 霞城公園

英語等通訳有

参加費無料

定員 20 名

少雨決行

事前に申し込みが必要です。申し込み方法は裏面をご覧ください。
定員を超えた場合は抽選します。

悪天候により中止する場合はメール等でご連絡します。

主催／お問合せ 山形文化遺産活用事業実行委員会 TEL 023-628-4930

(事務局 山形大学附属博物館)



平成 28 年度 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業



FAX 023-628-4668

山形文化遺産活用事業実行委員会

申 込 書

下記の項目を記入し、ファックスでお送りください。

メールでのお申込みも受け付けます。その際下記の内容をメール本文に記入するか、下記に記入したものを撮影してメールに添付して送付してください。

(hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp まで)

電話でのお申し込みも受け付けます。(TEL 023-628-4930 まで)

名前 Full name		カタカナ Name KATAKANA	
電子メール E-mail			
住所 Address			
電話番号 Phone Number			
国籍 Nationality		コース Select a course	A or B

※個人情報、本事業を実施するための連絡にのみ使用します。

※定員を上回った場合は抽選いたします。

主催／お問合せ

山形文化遺産活用事業実行委員会(事務局 山形大学附属博物館)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL 023-628-4930

E-mail hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年10月4日
山形大学

学生企画展「It's an Element World!!」を開催します

今話題の113番の新元素「ニホニウム」の発見には門叶冬樹教授（理学部担当）が関わりました。どうやって見つけたのか、どんな元素なのか、そもそも元素とは何か？興味をもった学生たちが、自分たちが調べたことを沢山のの方々に伝えたいと考え、展覧会を企画しました。

【実施概要】

主催 SCITAのゆかいななかまたち 山形大学SCITAセンター
山形大学高感度加速器質量分析センター 山形大学附属博物館 山形県

共催 山形大学小白川図書館

後援 国立研究開発法人理化学研究所 公益社団法人日本化学会
東京エレクトロン株式会社 株式会社化学同人

会期 平成28年10月14日(金)～11月15日(火)

休館日 10月30日(日)、11月3日(祝)、6日(日)、13日(日)

部分休館 10月31日(月) 13時～17時

開館時間 9時30分～17時(ただし、土日開館は11時～17時)

会場 山形大学附属博物館

入館料 無料

【関連行事】

- ①講演会「ニホニウム・113番元素の発見」
- 講師 森本幸司先生
(理化学研究所仁科加速器研究センター超重元素研究グループ
超重元素分析装置開発チーム チームリーダー
山形大学客員教授)
 - 日時 平成28年10月29日(土) 15:00～16:00
 - 会場 山形大学基盤教育1号館112号室(事前申込不要)
- ②SCITAセンター科学実験教室
毎週土曜日13:00～13:30(事前申込不要)
- ③学生による展示解説
毎週土曜日13:30～15:00(事前申込不要)

(お問合せ先)
山形大学附属博物館
電話 023-628-4930
E-mail: hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

It's an Element World!!

毎週土曜日の13時から13時30分までは
SCITAセンターで科学実験教室!
申し込み不要で誰でも参加できます!!

毎週土曜日の13時30分から15時
ゆかいななかまたちが展示室で解説します!!

2016年10月14日(金)

～11月15日(火)

会場:山形大学附属博物館

【休館日】10/30(日)、11/3(祝)、6(日)、13(日)

【部分休館】10/31(月) 13:00～17:00

【開館時間】9:30～17:00(土曜日は11:00～17:00)

【入館料】無料

- ◆主催/SCITAのゆかいななかまたち
山形大学SCITAセンター
山形大学高感度加速器質量分析センター
山形大学附属博物館 山形県
- ◆共催/山形大学小白川図書館
- ◆後援/国立研究開発法人理化学研究所
公益社団法人日本化学会
東京エレクトロン株式会社 株式会社化学同人

講演会

「ニホニウム・113番元素の発見」

講師 森本幸司先生

理化学研究所 仁科加速器研究センター
超重元素研究グループ 超重元素分析装置開発チーム
チームリーダー / 山形大学客員教授

日時 10月29日(土) 15:00～16:00

会場 山形大学基盤教育1号館112教室

事前申込不要

お問い合わせ 山形大学附属博物館
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL 023-628-4930
E-mail hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



講師
森本幸司先生

理化学研究所 仁科加速器研究センター
超重元素研究グループ 超重元素分析装置開発チーム
チームリーダー/山形大学客員教授

博士(理学)。科学技術振興事業団研究員や理化学研究所
研究員を経て、2009年より現職。主に原子番号が103
を超える超重元素の合成・研究に取り組んでいる。

講演会

ニホニウム

113番元素の発見

理化学研究所で合成された113番元素が国際的に新元素として認定されました。

元素周期表に初めて日本が発見した元素が加わることになります。

講演では、10年近い年月をかけ合成・発見された113番元素について、熱く語っていただきます。

講師 森本幸司先生

2016.10/29^土 15:00~16:00

会場 山形大学基盤教育1号館112号室

申込 事前申し込み不要 定員200名

お問合せ：山形大学附属博物館 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL 023-628-4930 Fax 023-628-4668 E-mail hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催：SCITAのゆかいななかたち/山形大学SCITAセンター/山形大学高感度加速器質量分析センター
山形大学附属博物館/山形県

共催：山形大学小白川図書館

後援：国立研究開発法人理化学研究所/公益社団法人日本化学会/東京エレクトロン株式会社/株式会社化学同人

平成28年10月4日
山形大学

蘇武絢子さん（地域教育文化学部3年）声楽コンクールで全国第3位

山形大学地域教育文化学部音楽芸術コース3年の蘇武絢子（そぶあやこ）さんが、9月24日に開催された『第8回東京国際声楽コンクール大学生部門※』において第3位に入賞しました。本学部では同コンクール第4回（平成24年）の松浦恵さんの第1位入賞以来2人目の上位入賞の快挙です。

1. 蘇武さんのプロフィール・これまでの歩み

・仙台市生まれ、仙台南高校で合唱部に所属し部長を務めた。その後地域教育文化学部音楽芸術コースに進学、声楽を専攻し現在3年次在学中。本年3月山形市中央公民館ホールで開催された学生オペラ公演「コシ・ファン・トゥッテ」において当時2年生ながらドラベッラ役に抜擢され、見事にその大役を演じきった。

2. コンクール入賞の経緯

・昨年の第7回の同コンクールより挑戦している。昨年は仙台市で開催された地区予選及び【東日本准本選】を通過し【本選】に臨み、入賞（第25位）という結果だった。
・今年の第8回大会は、予選免除であるため准本選からの挑戦となった。教育実習との日程の関係で、准本選は8月26日に神戸市で開催された【西日本准本選】に出場し36人中**第1位**を獲得して、【本選】へ進んだ。また、**神戸新聞社賞**も獲得した。
・大学生部門の【本選】は9月24日に東京江戸川区タワーホール船堀小ホールで開催され、30人が1人2曲ずつの演奏を行った。蘇武さんはベッリーニ作曲の歌曲「喜ばせてあげて」とドニゼッティ作曲のオペラ『ドン・パスクワーレ』よりノリーナのアリア「その眼差しは騎士の心を」の2曲を演奏し、見事第3位に輝いた。

3. 今後の抱負

・今後は後期の公開試験での演奏や来年3月の学生オペラ公演チマローザ作曲『秘密の結婚』のエリゼッタ役に全力で取り組みたい。
・将来は沢山の方々に感動していただけるような歌手になれるように、さらに勉強を続けていきたい。

東京国際声楽コンクールは、東京国際芸術協会が主催するコンクールで、本年度の第8回は予選を全国26か所、准本選を東日本、西日本の2か所、そして本選が開催された。大学生部門への参加者は予選から数えると119名になる。

（お問合せ先）
学術研究院 教授 藤野祐一
（地域教育文化学部担当）
電話 023-628-4330



The 8th
Tokyo
International
Vocal Music Competition

第8回

東京国際 声楽コンクール

募集要項

本コンクールの主な特長

【部門】	高校生/大学生/新進声楽家/一般声楽家/声楽愛好者A・B/オペレッタ・ミュージカル/歌曲/重唱(8人以内)/高校生アンサンブル/アンサンブル(12人以内) 合計11部門
【課題曲】	地区大会・准本選ともに自由曲1曲のみ
【開催地】	地区大会 ：全国21都道府県26会場、 准本選 ：東京/兵庫、 本選 ：東京
【賞】	最高賞金30万円、また参加者全員に演奏会出演・観覧招待・講習会・留学等を斡旋
【地区大会金賞】	准本選参加費を免除(一部の部門のみ)
【准本選金賞】	本選参加費を免除(一部の部門のみ)
【地区大会免除】	過去の通過者が同部門で受験する場合は免除(部門規定あり)
【地区大会再受験】	非通過者は再受験できる(受験料半額)
【公式伴奏者】	声楽伴奏の経験豊かな公式伴奏者を置く(一部地区大会・准本選・本選)
【曲目重複】	地区大会演奏曲を准本選か本選で再演できる
【演奏言語】	原語が原則だがオペレッタ・ミュージカル部門は邦訳可
【制限時間】	作品の趣旨を尊重し柔軟に対応する

共 催：【関西大会・西日本准本選】神戸市立灘区民ホール

【西日本准本選】篠山市立たんば田園交響ホール

協 力：ザ・ルーテルホール/常盤木学園高等学校/浜松学芸高等学校/
高松第一高等学校/エリザベト音楽大学/福岡女学院高等学校

協 賛：株式会社ドレミ楽譜出版社/東京音楽学院

後 援：公益社団法人全国高等学校文化連盟/

北海道/埼玉県/長野県/滋賀県/兵庫県/岡山県/札幌市/広島市/高松市/福岡市/

東京新聞/新潟日報社/静岡新聞社・静岡放送/中日新聞社/

神戸新聞社/山陰中央新報/熊本日日新聞社/沖縄タイムス社/

北海道二期会/名古屋二期会/中国二期会/

【下記各自自治体教育委員会】宮城県/埼玉県/滋賀県/岡山県/島根県/香川県/

仙台市/松本市/浜松市/広島市/福岡市/熊本市/浦添市

主 催・郵送・問い合わせ先：

一般社団法人 東京国際芸術協会

〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6-301

TEL:03-6806-7108 FAX:03-3806-8555 <http://www.tiaa-jp.com/tivmc/>



一般社団法人

東京国際芸術協会
Tokyo International Association of Artists

平成28年10月4日
山形大学

* 詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 国際宇宙ステーションを利用した共同研究の成果について

植物ホルモンのオーキシシン（植物の成長に必須なホルモン）を運ぶタンパク質が、キュウリ芽生えの形をつくるしくみを宇宙実験で発見しました。

※本成果は、東北大学及びJAXAとの共同研究によるものです。

2. 大学祭のご案内

- ・ 吾妻祭（山形大学工学部・米沢女子短期大学・米沢栄養大学が合同で行う学園祭）
日時：平成28年10月8日（土）～10日（月）
- ・ 八峰祭（小白川キャンパス）
日時：平成28年10月22日（土）・23日（日）
- ・ 鶴寿祭（鶴岡キャンパス）
日時：平成28年11月5日（土）・6日（日）

3. 大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

10月は、やまがた夜話のアンケートでリクエストの多かった「最上義光」について、「家康に天下を獲らせた男 最上義光」をテーマに、山形大学学術研究院教授 松尾剛次教授に4回にわたってお話いただきます。

期日：平成28年10月5日（水）、12日（水）、19日（水）、26日（水）

時間：18:30～19:30

対象：高校生・大学生・一般の方々どなたでもご参加いただけます（定員50名）。

場所：ゆうキャンパス・ステーション

4. 「ポルティコの街ボローニャに学ぶ」2つのシンポジウムを開催

イタリアからマウロ・フェリコーリ氏（世界遺産「カゼルダ宮殿」の総責任者）を迎え、2つのシンポジウムを開催します。

●シンポジウム「博物館改革と文化資源の活用—イタリアの事例に学ぶ」

日時：平成28年11月2日（水）16:30～18:00

場所：山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館132教室

●シンポジウム「イタリア・ボローニャ市に学ぶユネスコ創造都市ネットワークへの取り組み」

日時：平成28年11月4日（金）14:00～15:30

場所：山形市役所大会議室（山形市庁舎11階）

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎平成28年度 山形大学農学部農学紹介講座「農学のタベ」

食育、有機農業、バイオテクノロジー、環境問題など非常に幅広くなっている現代の農学を広く皆さんに知っていただきたいと考え企画しました。

日 時：平成28年10月6日（木）～11月10日（木）午後6時～7時30分 全5回

会 場：山形大学農学部講義室（鶴岡市若葉町1-23）

受講料：無料（申込不要）

お問い合わせ：山形大学農学部企画広報室 TEL:0235-28-2803

◎山形大学農場フェスティバル

開催日時：平成28年10月8日（土）10:00～15:30

場 所：山形大学農学部高坂農場 入場無料 ご飯無料

◎山形大学キャンパスコンサート 2016

今年度は音楽芸術コースの学生及び大学院生が、長井市出身の紺野陽吉の作品、民話を題材としたオペラ、ピアノ連弾という三つのプログラムを用意しました。（会場：山形大学文化ホール、入場料：無料）、

・第1回 山形が生んだ音、音楽 —紺野陽吉の音楽—

平成28年10月8日（土） 13:00～

・第2回 オペラで楽しむ日本の民謡 —林光作曲《あまんじゃくとうりこひめ》—

平成28年11月19日（土） 13:00～

・第3回 2台ピアノの饗宴 —6人で奏でる名曲の調べ—

平成28年12月10日（土） 13:00～

◎第9回山形大学高校生朗読コンクール/群読劇

山形大学特別プロジェクト「いま、言葉を東北の灯（ともしび）に」の事業として、10月9日（日）に、第9回山形大学高校生朗読コンクールと群読劇「恩讐の彼方に」を開催します。

日 時：10月9日（日） 13時～17時

第一部：山形大学高校生朗読コンクール

第二部：群読劇「恩讐の彼方に」

場 所：遊学館（山形県生涯学習センター）ホール（〒990-0041 山形市緑町1-2-36）

◎第6回学長特別講演会シリーズ「山形から世界へ」

本学の3つの使命「地域創生」、「次世代形成」、「多文化共生」を発信するため、昨年度から開催している学長特別講演会を今年度も引き続き開催します。今回は、「山形から世界に、世界を山形に～共生社会の創造でグローバル次世代形成を～」と題して、三井物産株式会社 石川博紳 顧問にご講演いただきます。

日時：平成28年10月11日（火）16:30～18:00

会場：小白川キャンパス人文学部1号館301教室

◎第2回アルファ化米粉レシピコンテスト説明会

開催日時：平成28年10月15日（土）13:00～16:30

場 所：山形県立米沢栄養大学

※コンテストの詳細はホームページをご覧ください。 <http://cisweb.yz.yamagata-u.ac.jp/~alpha/>

平成28年10月4日
山形大学

国際宇宙ステーションを利用した共同研究の成果について

植物ホルモンのオーキシンを運ぶタンパク質が、キュウリ芽生えの形をつくるしくみを宇宙実験で発見しました。

※オーキシン・・・植物の成長に必須なホルモン

【研究の背景】

キュウリの芽生えは重力を感知して、「ペグ」と呼ばれる突起状の組織を、茎と根の境目（境界域）の下側にひとつつくります。ペグは、芽生えのときに種皮を押さえて芽生えが種皮から抜け出すというプロセスを助ける重要な器官です。重力によるペグ形成制御のしくみについて解明するため、山形大学の宮沢豊教授は、東北大学大学院生命科学研究科の高橋秀幸教授及びJAXAと共同で、国際宇宙ステーションの“微小重力環境”を利用した実験（2011年～2014年）を実施しました。宮沢教授は、研究計画の立案と実験に携わりました。

【研究の成果】

これまでの地上実験をもとに、上記研究グループは、地上ではペグ形成予定域の上側で植物ホルモンのオーキシンが減少することで、上側のペグ形成が抑制され、下側だけにできるというモデルを提唱してきました。国際宇宙ステーションでの実験の結果、オーキシンの輸送を担うPINタンパク質が、重力刺激（重力を感知すること）に依存して細胞内で位置を変化させること、PINタンパク質をもつ細胞が協調して働くことで、これまでに知られていなかった新しいオーキシンの通り道を形成すること、キュウリの芽生えが地上で成長に有利な形態形成を行うために、この通り道を利用して上側でのオーキシンを減少させることが明らかになりました。以上の結果から、キュウリは進化の過程で、地球上での重力（1G）環境で、重力の方向を感知してオーキシンを組織の下側に運ぶことによって成長を制御するしくみを獲得してきた可能性が考えられました。その一方で、宇宙で植物を生育させると、進化の過程で獲得してきたこの成長制御機構が簡単に破綻してしまう可能性が示唆されたことから、将来、宇宙飛行士が長期の宇宙滞在で食用作物を適正に生育させるためには、人工重力やその他の代替手段が必要になるかもしれません。

本実験は、国際宇宙ステーションで実験操作を行った古川聡宇宙飛行士、地上からの操作を行った日本実験棟「きぼう」の運用管制チームの協力によって実施されました。

本成果は、ネイチャー・パートナー・ジャーナル「npjマイクログラビティ（npj Microgravity）」に平成28年9月15日、公開されました。

<http://www.nature.com/articles/npjmgrav201630>

東北大学及びJAXAのプレリリースは9月26日に実施済です。

（お問い合わせ先）
学術研究院 教授
宮沢 豊（植物生理学）
電話 023-628-4614

【図】と説明

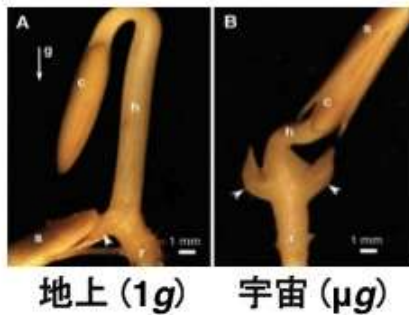
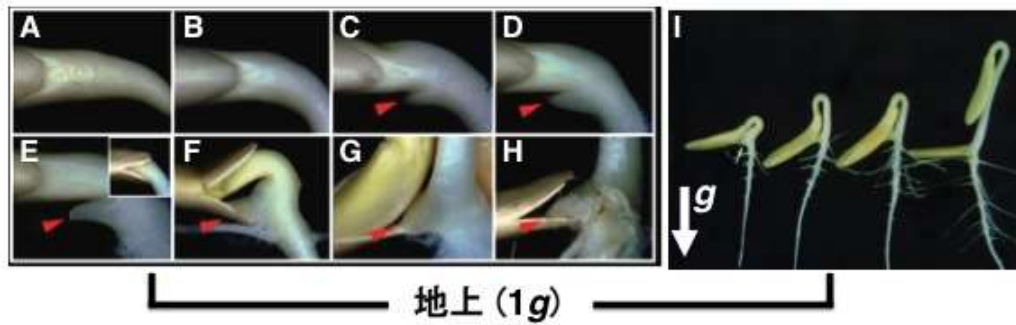


図1 キュウリ芽生えは、重力を感知して上側のペグ形成を抑えます。
 写真上: キュウリ種子が横になって発芽すると、胚軸と根の境界域の下側にペグ(赤矢尻)をつくります。ペグは下側の種皮を押さえ、胚軸が上に伸びることによって、芽生えが種皮から抜け出すのを助けます。
 写真左: 地上(A)および宇宙の微小重力下(B)で発芽・生育したキュウリの芽生え。微小重力下ではペグが胚軸と根の境界域の両側にできます。

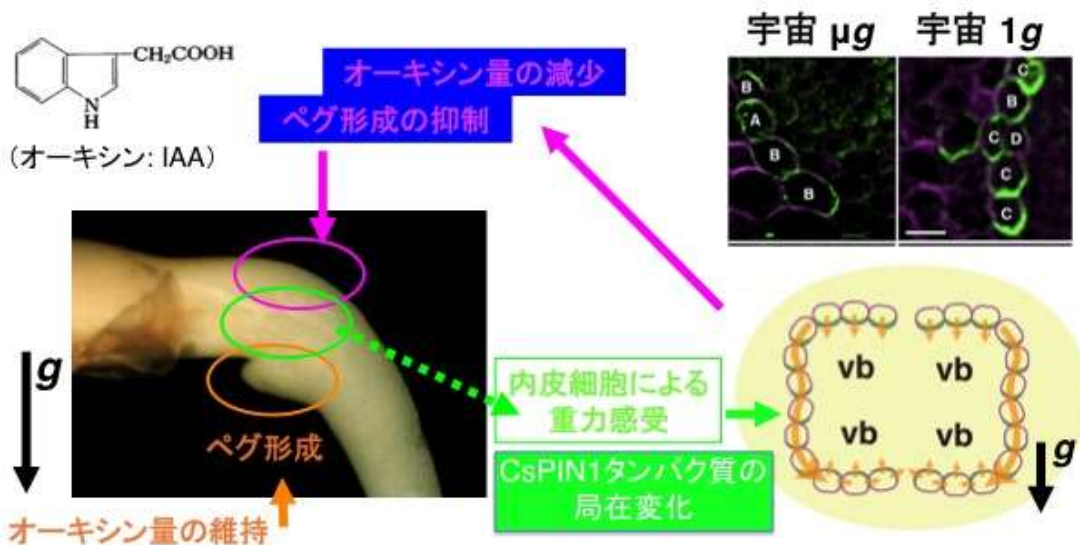


図2 キュウリ芽生えは重力を感知して、内皮細胞の下側にCsPIN1タンパク質を発現させ、オーキシンを上側から下側に運び、その結果、上側でオーキシンを減少させ、ペグをつらないようにします。
 写真右: 宇宙の微小重力下(μg)と人工重力下(1g)における内皮細胞のCsPIN1の局在。緑色がCsPIN1タンパク質。右下のモデルでは、緑色の三日月形がCsPIN1、橙色の矢印がオーキシンの輸送方向、vbが内皮層の内側の維管束を示します。

PIN タンパク質: 分裂組織や芽・若い葉でつくられるオーキシンは作用部位まで輸送されますが、その過程でオーキシンは細胞内に流入して排出されます。PIN-FORMED (PIN)タンパク質は細胞膜の一部に偏在し、そこから細胞内のオーキシンを排出するのに必要です。したがって、同じ PIN タンパク質の局在パターンをもつ細胞が連なる組織では、この PIN タンパク質が局在する側にオーキシンが輸送されます。

平成28年10月4日
山形大学

大学祭のご案内

今年も、10月8日（土）からの吾妻祭を皮切りに、米沢、小白川、鶴岡の各キャンパスでそれぞれ大学祭を開催します。山形大学の学生たちを身近に感じていただける機会です。幅広い年代の方に楽しんでいただけるような企画をご用意して、皆様のご来場をお待ちしております。

- **吾妻祭**（山形大学工学部・米沢女子短期大学・米沢栄養大学が合同で行う学園祭）
アーティストとお笑いのライブ、フリーマーケット、お化け屋敷、屋台、ミスター&ミスコンテスト、ビンゴ大会等を予定しています。

日時：平成28年10月8日（土）～10日（月）

場所：8日 米沢女子短期大学・米沢栄養大学

9日・10日 山形大学工学部（米沢キャンパス）

問い合わせ：第22回吾妻祭実行委員会

azumasai2016@gmail.com

<http://azumafesta.com>

- **八峰祭**

第50回となる今回のテーマは「50回もやった!!!」。ミス・ミスター山大コンテスト、アーティストライブ、サークルによる飲食ブースやステージ発表等を予定しています。

日時：平成28年10月22日（土）・23日（日）

場所：小白川キャンパス

問い合わせ：八峰祭実行委員会

info@yatsuminefestival.com

<http://www.yatsuminefestival.com>

- **鶴寿祭**

野菜即売会、研究室紹介、サークル発表、模擬店、もちつき等予定しています。

日時：平成28年11月5日（土）・6日（日）

場所：農学部（鶴岡キャンパス）

問い合わせ：鶴岡キャンパス事務室（0235-28-2808）

（お問合せ先）

総務部総務課広報室

電話 023-628-4008

やまがた夜話

「家康に天下を獲らせた男 最上義光」

やまがた夜話のアンケートでリクエストの多かった「最上義光」今回は、第一人者の山形大学教授 松尾先生に4回にわたりお話しいただきます。



平成28年

長谷堂合戦図(義光部分)

- 10月 5日(水) 義光ー幼少から家督を継ぐまで
 - 10月12日(水) 義光ー羽州探題の再興を目指して
 - 10月19日(水) 初代山形藩主への道
 - 10月26日(水) 義光のその後を追う
- ※時間はすべて18:30 ~ 19:30です。

講師: 松尾 剛次 氏 (山形大学学術研究院教授)



会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらきさわビル1階)

アクセス

山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民

お申し込み

電話又はチラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入の上Fax、郵送、メール等でお申し込みください。

定員: 50名

入場無料



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ

□990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

Tel: 023-628-4842 Fax: 023-628-4820 E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成28年10月 5日(水) 講師: 松尾 剛次 氏 <input type="checkbox"/> 平成28年10月12日(水) 講師: 松尾 剛次 氏 <input type="checkbox"/> 平成28年10月19日(水) 講師: 松尾 剛次 氏 <input type="checkbox"/> 平成28年10月26日(水) 講師: 松尾 剛次 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ポルティコの街ボローニャに学ぶ

Mauro Felicori



講演

マウロ・フェリコーリ

世界遺産「カゼルダ宮殿」(イタリア)の総責任者
(イタリア文化財省所属)

前ボローニャ市経済プロモーション局長

山形・ボローニャ戦略的文化交流プロジェクト

シンポジウム

博物館改革と文化資源 の活用 - イタリアの事例 に学ぶ



報告者 小山清人 山形大学長

2016年 11月2日(水) 16:30 ~ 18:00
山形大学小白川キャンパス基盤教育1号館132教室

タイムテーブル

16:30~ イタリア国立博物館の改革
マウロ・フェリコーリ氏
英語による講演・**逐次通訳有**

17:20~ 山形大学附属博物館の改革と
地域への貢献
小山清人 学長

17:30~ ディスカッション
コーディネイター
山本陽史 (山形大学学術研究院教授)

聴講は無料です
駐車場に限りがありますので、できるだけ乗り合いまたは
シャトルバス(山形駅16:00発小白川行)をご利用ください

事前お申し込みは不要です

お問合せ 山形文化遺産活用事業実行委員会
(事務局 山形大学附属博物館)

TEL 023-628-4930

主催 国立大学法人山形大学 チェントロ・ポルティコ研究会
山形文化遺産活用事業実行委員会
後援 公益財団法人山形県国際交流協会 山形市

山形市創造都市推進事業

シンポジウム

イタリア・ボローニャ市に学ぶ ユネスコ創造都市ネットワーク への取り組み



報告者 佐藤孝弘 山形市長

2016年 11月4日(金) 14:00 ~ 15:30
山形市役所大会議室(山形市庁舎11階)

タイムテーブル

14:00~ 山形市の取り組み
佐藤孝弘 市長

14:20~ 創造都市ボローニャの取り組み
マウロ・フェリコーリ氏
英語による講演・**逐次通訳有**

15:10~ ディスカッション
コーディネイター
山本陽史 (山形大学学術研究院教授)

聴講は無料です
山形市役所の駐車場がご利用になれます

事前にお申し込みが必要です

裏面をご覧ください、お名前と参加人数を下記まで
お知らせください

お申込み/お問合せ 山形市文化振興課
TEL 023-641-1212 (内線 638) FAX 023-624-9618
E-mail bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp

主催 山形市 チェントロ・ポルティコ研究会
後援 公益財団法人山形県国際交流協会 国立大学法人山形大学

FAX 023-624-9618

山形市文化振興課

11月4日（金）シンポジウム

「イタリア・ボローニャ市に学ぶユネスコ創造都市ネットワークへの取り組み」

申 込 書

下記の項目を記入し、ファックスでお送りください。

メールでのお申し込みも受け付けます。その際下記の内容をメール本文に記入するか、下記に記入したものを撮影してメールに添付して送付してください。

(bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp まで)

電話でのお申し込みも受け付けます。(TEL 023-641-1212 (内線 638))

名前 Full name	申込み人数 How many people?
電子メール E-mail	
住所 Address	
電話番号 Phone Number	

※個人情報は、本事業を実施するための連絡にのみ使用します。

お問合せ

山形市企画調整部文化振興課

〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25 TEL 023-641-1212 (内線638)

E-mail bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp